

さまざまな分野で活用が進む加速試験

冷熱衝撃試験機と複合サイクル試験機を紹介

- 製品を市場に出す前に十分な信頼性があることの確認
- 安全上の問題がないことを検証し、保証することが可能
- 世界中のどこでも問題なく使用でき、耐久性があることを試験できます

研究目的・内容

繊維や高分子、有機材料、機械、金属材料分野などを中心に、新製品の開発や生産技術の改良などに必要な試験研究機器を約300台開放し、企業のみなさまにご利用いただけます。(有料)

【長浜庁舎で利用いただける加速試験機器】●キセノンウェザーメータ、スガ試験機(株) ●メタルハライドウェザーメータ、スガ試験機(株) ●小型ウェザーメータ、CO.FO.ME.GRA社 ●紫外線フェードメータ、スガ試験機(株) ●恒温恒湿槽、エスペック(株) ●環境試験室、(株)大西熱学 【彦根庁舎で利用いただける加速試験機器】●冷熱衝撃試験機、エスペック(株) ●複合サイクル試験機、スガ試験機(株)

期待される用途

冷熱衝撃試験機は、高温と低温の温度環境を交互に切り替えることにより、急激な温度変化に対する電子部品等の耐性、材料の熱膨張、収縮による影響を評価することができます。複合サイクル試験機は、塩水噴霧、乾燥、湿潤環境を繰り返す耐食性試験が実施できます。



冷熱衝撃試験機
(県内料金税込1,020円/1h、増800円/1h)



複合サイクル試験機
(県内料金税込690円/1h、増470円/1h)

キーワード

加速試験、環境試験、塩水噴霧、試験機器利用

滋賀県東北部工業技術センター

金属材料係（彦根庁舎）、繊維・デザイン係（長浜庁舎）

安田 吉伸、山下 誠児

連絡先： <https://www.hik.shiga-irc.go.jp/access/inquiry> / 0749-22-2325（彦根）、0749-62-1492（長浜）

